



平成 21 年 4 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社ふくおかフィナンシャルグループ  
 代 表 者 取締役会長兼社長 谷 正明  
 本 社 所 在 地 福岡市中央区大手門一丁目 8 番 3 号  
 (コード番号 8 3 5 4 東証第一部、大証第一部、福証)  
 問 合 せ 先 経営企画部長 横田 浩二  
 (TEL. 092-723-2502)

## 平成 21 年 3 月期の有価証券評価損に関するお知らせ

当社子会社が保有する「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 21 年 3 月期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせします。

記

### 1. 平成 21 年 3 月期における有価証券評価損

	連結
(A)平成 21 年 3 月期第 4 四半期会計期間（平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額（＝イーロ）	△4,482 百万円
(イ)平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額	10,627 百万円
(ロ)直前四半期（平成 21 年 3 月期第 3 四半期）累計期間（平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額	15,110 百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、第 2 四半期末は切放し法、第 1 四半期末、第 3 四半期末は洗替え方式を採用しております。

※当社の決算期末は、3 月 31 日です。

※なお、上記「(A)平成 21 年 3 月期第 4 四半期会計期間（平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額（＝イーロ）」は約 45 億円の戻入となっておりますが、同会計期間において別途、証券化商品等の債券及び株式の売却等により約 72 億円の損失を計上しております。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	連結
(B)平成 20 年 3 月期末の純資産額	592,516 百万円
(A/B×100)	△0.7%
(イ/B×100)	1.7%
(C)平成 20 年 3 月期の経常利益額	25,865 百万円
(A/C×100)	△17.3%
(イ/C×100)	41.0%
(D)平成 20 年 3 月期の当期純利益額	1,252 百万円
(A/D×100)	△357.9%
(イ/D×100)	848.8%

## 2. 今後の見通し

平成 21 年 3 月期の業績につきましては、現在集計中であり、業績予想の修正が必要となる場合は、速やかにお知らせいたします。

## 3. <ご参考>子銀行（個別）の有価証券評価損

	福岡銀行	熊本ファミリー銀行	親和銀行
(A)平成 21 年 3 月期第 4 四半期会計期間（平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額（＝イ－ロ）	△2,111 百万円	407 百万円	993 百万円
(イ)平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額	6,960 百万円	2,274 百万円	8,189 百万円
(ロ)直前四半期（平成 21 年 3 月期第 3 四半期）累計期間（平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額	9,071 百万円	1,867 百万円	7,195 百万円

※熊本ファミリー銀行及び親和銀行が保有する有価証券については、企業結合会計に基づく当社連結会計上の簿価と子銀行の簿価が相違するため、当社連結の有価証券評価損の総額と子銀行の有価証券評価損の総額の合計は一致いたしません。

以 上

本件に関するご照会は下記までお願いいたします。  
ふくおかフィナンシャルグループ  
経営企画部 財務G  
電話 092-723-2502